



思い出に残る運動会に!

暦の上では、「秋分（9月23日）」を迎えます。朝夕めっきりと涼しくなり、日中の暑さの中でさえ、心地よい風を感じる今日頃となりました。

運動会を間近に控え、子どもたちは、「輝き☆」を放ちながら練習に励んでいます。気温とWBGT（暑さ指数）を気にしながら適宜水分補給をし、「密」を避け、短時間で効率のよい練習に汗を流しています。

今年の運動会も、昨年に引き続き、コロナ禍での開催となります。半日開催の上に、「密」になりにくい種目の実施となるため、保護者の皆さんが子どもの頃に経験した運動会とは大きく違う形（「**学校の新しい運動会様式**」）となっています。

今年の運動会も半日開催。
メインは、「表現」と「競争」!!
一人が参加する種目は2種目ですが、きっと会場を
わかせ、感動を与えてくれることでしょう。
種目数は減っても、子どもたちの意気込みは少しも
変わっていません!

そんな新しい様式の中、「半日か・・・」「種目が・・・」とネガティブになってしまっただけは、せつかくの運動会が台無しです。前向きな気持ちを高めるためにも、「コロナ禍で何ができるのか。どうすればいいのか。」と、今できる最大限の可能性を考えることが大切です。「今年の運動会は貴重だ! これからに必ず活かせる!」とポジティブに考え、児童・保護者・教職員が一体となり、挑戦していきたいものです。



全校で取り組む運動会は、一人ひとりの力を結集し、皆で創り上げていく醍醐味があります。とかく当日の成果に目が向きがちですが、それまでの**取組過程にこそ教育的な価値**があると考えています。「身体を

～ 師弟同行 ～

～(していつきよう)～

動かす(使う)体験」「集団活動から得られるルール・マナー・協調性」「自己の役割を果たす責任感・自己有用感」「成し遂げる達成感・成功体験」等々、ふだんの授業だけでは得られない、たくさんのもので得ることができます。同時に、「行動力」「発想力」「表現力」といった、一人ひとりの「**輝き☆**」もみつけることができます。演技や係のために、自ら行動する子、自分の発想を活かす子、質の高い表現をする子…、こういった発見ができるのも運動会ならではのです。

「新しい運動会様式」だけに、**自分の記憶**と**家族の記憶**に残る、思い出深い運動会になることを切に願っています。

～特別日課のひとこま～

運動会を成功させるために、子どもたち同様、先生方も精一杯取り組んでいます。その一つが、表現への取組です。短期間・短時間による効率の良い取組のため、自ら**率先**して動きを見せます。コツをつかんだ動きを、子どもたちに分かりやすく示し、**さすが!**と思わせる動きが随所に見られます。

右は、昔からよく言われる格言です。まさに先生方は、この言葉を体現しています。子どもたちとともに歩み、師弟同行を実践しています。

やってみせ
言って聞かせて
させてみて
誉めてやらねば
人は動かじ

